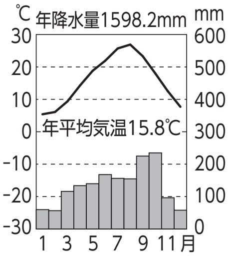
第 4 講 【系統地理編】日本の自然環境と災害
PART 2 日本の気候

Chapter 1 日本の気候

目標
日本の気候の特徴を理解しよう。
小笠原気団の働きと日本の気候の関係について理解しよう。

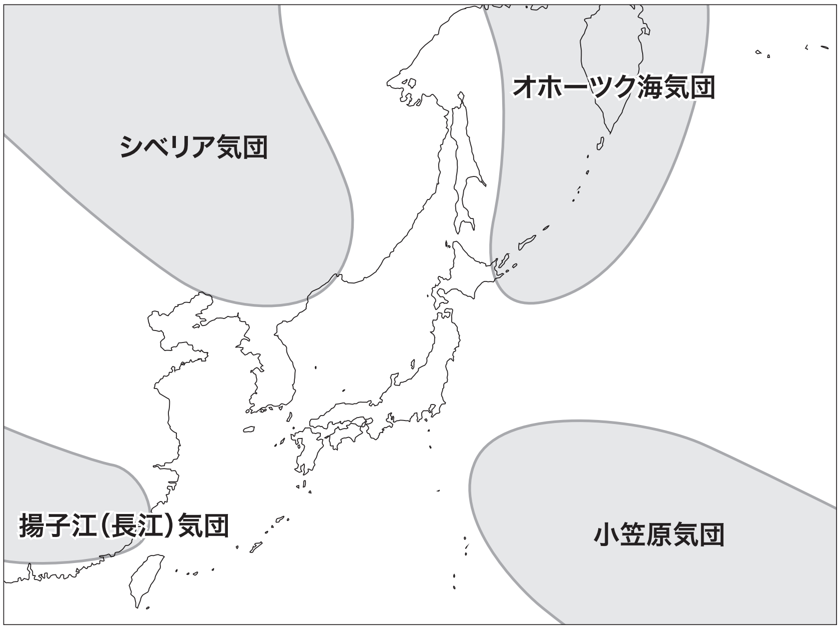
1 日本の気候



(『理科年表』により作成)

・日本列島は，北海道が〔　　　　　　　　　　〕**気候**，本州以南が〔　　　　　　　　〕**気候**。
→大陸の東岸に位置し，気温の**年較差**が大きい。**四季**が明瞭。
→〔　　　　　　〕や**熱帯低気圧**などの影響を受け**降水量**が多い。
・南西諸島は冬でも気温が**高く**，**亜熱帯**の気候と呼ばれることも。

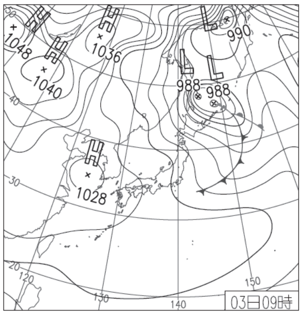
2 日本を囲む気団



日本を囲む気団

1. シベリア気団

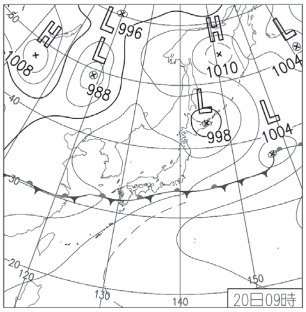
・**ユーラシア**大陸東部に発達する，**大陸性寒帯気団**。
・冬に張り出し，〔　　　　　　〕の気圧配置をつくる。
・シベリア気団から吹き出した〔　　　　〕の季節風は，日本海上空で水分を蓄え，日本海側の〔　　　　〕の要因となる（**地形性降雨**）。



冬の気圧配置
（出典：気象庁ホームページ）

2. オホーツク海気団

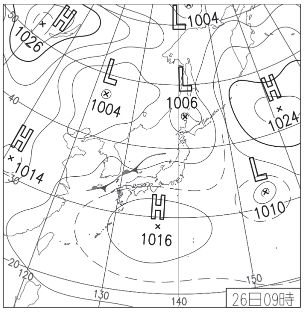
・オホーツク海上に発達する**海洋性寒帯気団**。
・初夏や秋に張り出し，**小笠原気団**との間に〔　　　　〕を形成する（**梅雨前線・秋雨前線**）。
・初夏から秋にかけて，東北地方の太平洋岸にオホーツク海気団から吹き出す冷涼な風（やませ）が吹き込み，〔　　　　〕の原因となる。



梅雨前線
（出典：気象庁ホームページ）

3. 小笠原気団

・太平洋北西部で発達する**海洋性熱帯気団**。
・小笠原気団より吹き出す風が，〔　　　　〕の季節風となり，夏の太平洋側に降雨をもたらす。
・盛夏は日本列島上空へ張り出し，**猛暑**の要因となる。



夏の気圧配置
（出典：気象庁ホームページ）

まとめ　気温の年較差が大きく，季節風や熱帯低気圧の影響を受け，降水量が多い。初夏や秋にはオホーツク海気団との間に前線を形成して降雨を，盛夏は日本上空へ張り出して猛暑をもたらす。

Chapter 2　日本各地の気候

目標
季節風と日本の地域の降水量の関係について理解しよう。
本州以南の降水量が少ない地域の特徴について理解しよう。

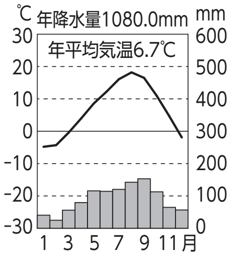
1　太平洋側の気候

1. 北海道～東北地方

・**寒流**や〔　　　　　　〕の影響で，夏に**冷涼**な気候。
　→北海道東部は稲作に向かず，**酪農**や**畑作**が盛ん。

・北海道は〔　　　　〕もなく，台風の上陸もほとんどないため，年降水量はやや少ない（1,000mm 程度）。

釧路



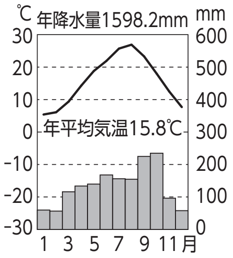
（雨温図は全て，『理科年表』により作成。）

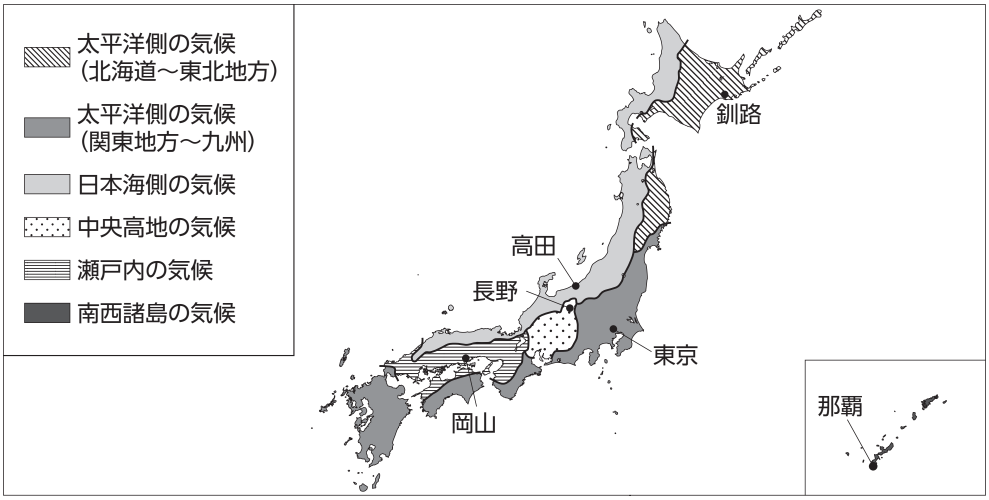
2. 関東地方～九州

・〔　　　　〕の**日本海流**の影響で，冬の気温が比較的**高い**。
　→一年を通して温暖であることから，古くから人口が密集。

・〔　　　　〕半島南部では，夏～秋に台風の通り道となり特に多雨となる。

東京



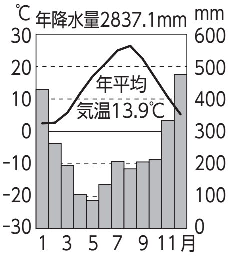


日本の気候区分

2　日本海側の気候

・冬は北西の季節風が吹き込み，世界的な**豪雪地帯**となる。
　→季節風が〔　　　　　〕海流上空を通過することで湿った空気となり，**山脈**にぶつかって降雪をもたらす。
　→豊富な雪どけ水を活かした，**稲作**が盛ん。
・夏は**南東**の**季節風**の風下側となり，〔　　　　　　　　　〕現象で**高温**となる。

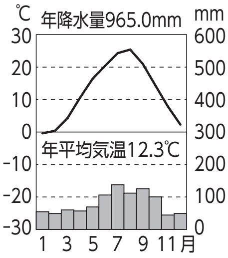
高田



3　中央高地の気候

・標高が高く，比較的〔　　　　　〕の気候。
　→最寒月は，平均気温も**氷点下**となる。
・周囲を**山地**で囲まれ，**湿った**空気が届きにくい。
　→年降水量は 1,000mm 程度で比較的**少ない**。

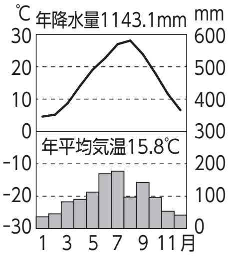
長野



4　瀬戸内の気候

・**中国山地**と**四国山地**に囲まれ，湿った空気が届きにくい。
　→気候は温暖で晴れの日が多く，〔　　　　　〕時間も長い。年降水量は 1,000mm 程度。
　→**果樹栽培**に適し，**太陽光発電**も。

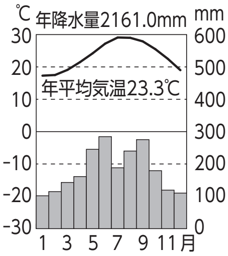
岡山



5　南西諸島の気候

・冬の気温が**高く**，気温の年較差が小さい。
　→〔　　　　　　　〕の気候とも呼ばれる。
　→**パイナップル**や**サトウキビ**の栽培が盛ん。
・〔　　　　　〕の影響が強いなど，年降水量は多い。

那覇



まとめ

夏は南東の季節風により太平洋側で多雨，冬は北西の季節風により日本海側で多雨。
中央高地と瀬戸内地方は，山地に囲まれるため降水量が少ない。

第 4 講　PART 2　確認問題

1 冬の日本の気圧配置はどれか。

① 東高西低　② 北高南低
③ 西高東低　④ 南高北低

2 初夏に小笠原気団とオホーツク海気団の間に形成される前線はどれか。

① 閉塞前線　② 梅雨前線
③ 温暖前線　④ 秋雨前線

3 盛夏に日本列島へ張り出す気団はどれか。

① オホーツク海気団　② シベリア気団
③ 小笠原気団　④ 揚子江（長江）気団

4 北海道の気候区分はどれか。

① 亜寒帯湿潤気候　② 温暖湿潤気候
③ 亜寒帯冬季少雨気候　④ 地中海性気候

5 東北地方太平洋側の地域が夏に冷涼となるのはなぜか。

① 濃霧が発生するから。
② 梅雨があるから。
③ 台風が発生するから。
④ やませが吹くから。

6 冬に日本海側が大雪となるのは，どの海流の影響か。

① 対馬海流　② リマン海流
③ 日本海流　④ 千島海流

7 夏に日本海側で高温をもたらす現象は何か。

① ヒートアイランド現象　② エルニーニョ現象
③ ラニーニャ現象　④ フェーン現象

8 降水量が最も多いのはどの地域か。

① 中央高地　② 北海道
③ 南西諸島　④ 瀬戸内

第 4 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　冬はユーラシア大陸東部で発達した**シベリア気団**が日本列島に張り出すため，**西高東低**の気圧配置となる。

2 解答：②　初夏には，オホーツク海気団と小笠原気団との間に**梅雨前線**が形成される。なお，両気団は秋にも前線を形成し，これを**秋雨前線**という。

3 解答：③　盛夏になると，**小笠原気団**が卓越するようになり，猛暑の原因となる。

4 解答：①　日本列島は北海道が**亜寒帯湿潤気候**，本州以南が**温暖湿潤気候**に属している。

5 解答：④　**やませ**は，初夏から秋にかけてオホーツク海気団から吹き出す北東の風であり，寒流である千島海流の上を通過するために寒冷となる。初夏にやませが吹くと稲の成長を大きく妨げることになり，不作などの**冷害**が発生する。

6 解答：①　冬にシベリア気団から吹き出した**北西の季節風**は，蒸発量の多い暖流である**対馬海流**の上空で水分を蓄える。この季節風が山脈を越える際に日本海側に大雪を降らせる。

7 解答：④　夏に小笠原気団から吹き出した**南東の季節風**は，山脈を越える際に太平洋側に雨を降らせ，その後乾燥した状態で日本海側に吹き下ろす。乾燥した空気は標高が下がると温度が上がり，日本海側が高温となる（**フェーン現象**）。

8 解答：③　**南西諸島**は台風の影響も強く受けることから年降水量が多い。